

## “ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

|      |    |     |                 |
|------|----|-----|-----------------|
| 事業番号 | 15 | 事業名 | 成長産業分野人材育成支援事業費 |
|------|----|-----|-----------------|

### 1 基本情報

|        |              |     |             |
|--------|--------------|-----|-------------|
| 実施日／班名 | 10月13日 第3班   | 時間  | 15:25～16:30 |
| 担当課名   | 経済産業部職業能力開発課 | 事業費 | 8,000千円     |

### 2 判定結果

| 結 果               |      | 県民評価者 判定内訳(人)                     |    |        |    |
|-------------------|------|-----------------------------------|----|--------|----|
| 県の関与必要<br>(現行・拡充) | 判定区分 | 県の関与不要                            | 1  |        |    |
|                   |      | 県の関与必要                            | 33 | 見直し・縮小 | 6  |
|                   |      |                                   |    | 現 行・拡充 | 27 |
|                   | 判定理由 | 結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有） |    |        |    |
|                   |      | 事業内容を充実し事業費を増額すべき                 |    |        | 15 |
|                   |      | 現行どおり実施すべき                        |    |        | 11 |
|                   |      |                                   |    |        |    |

### 3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

#### 【県の関与不要】

- ・費用対効果が不明、分かりにくい。追跡調査が行われていない。

#### 【県の関与必要（見直し・縮小）】

- ・この事業の区切りは早すぎる気がする。
- ・ものづくり県としては必要だと思うが、民間企業でやるべきところもあるのではないか。
- ・本人が希望をしているのだから本人負担金を増やすべき。中小企業負担も考える。対象者を選定する。分野を広げると予算が増えるので、分野を減らして県税を減らす。専門校で対応できるだけする。
- ・もっと会社にアピールした方がいい。
- ・大人になってから学校へ行くのは大変なので、少ない日数で勉強できることはとてもよいことだと思う。自分自身をレベルアップできることはよいことだと思う。
- ・事業計画期間が短すぎる。事業はもとより県技術専門校の定員が割れている現状はどうするのか。
- ・技術を講習で取得してもそれを生かす受注がなく、技術をいかせない、受講者が増えないというのが現状。県は技術者のいる企業への受注あっせんを含めた事業計画が必要でないか。
- ・溶接工業協同組合が行っている技術評価試験とは違うのか。
- ・受講人数が少ない理由は、技術をとっても仕事につながらないからで、すぐに受注につながらないことを今企業がやれる体力はない。県は、この技術でこういう技能検定試験を受けた企業を紹介する、ホームページに掲載するなど、次の仕事につながるためのあっせんをしてほしい。技能検定試験があって、どの企業の誰が資格をとったというのをホームページに掲載してもらえれば、企業の受注にもつながるし、受講者も増えてくるのではないか。

- ・技能専門校自体の定数が割れているので、その辺をオープンにしてほしい。だんだん技術者が日本からいなくなっているので、歯止めをかける意味でこの事業は大事だと思うが、もう一歩進んだ事業計画をお願いしたい。

#### 【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・技術大国日本の危機が叫ばれている現在、裾野を広げて更に新しい分野を開拓するためにも更に進めたい。
- ・単に専門分野を向上するだけでなく、ベテラン技術者に少し異なる分野の技術に触れさせることで新しい発想や異業種とのマッチング、創造も期待できるかもしれない。
- ・受講した方がまた参加したいという事なので、たくさんの方が参加できるよう宣伝をしてほしい。
- ・事業開始が23年で、終了が25年というのはどうしてなのか。
- ・町工場で働く若者の技術向上のために、技術専門校の活用は大いに推進すべきだと思う。対象者数を把握し、何ヶ年計画で目的を達成させるかを具体的に設定してほしい。平成25年で終了するのでなく、産業分野のリサーチや講習対象分野の見直しや拡大をしつつ、継続してほしい。また、企業に対し、多くの受講希望者が出るようにPRも必要だと思う。
- ・今後の県民の生活基盤になるので、充実してほしい。
- ・効果測定をしっかりとしてほしい。
- ・専門技術が身につく良い機会レベルアップにつながる。継続が望ましい。
- ・中小企業が中心となって静岡がある。これには驚いた。ただ大企業がないとだけだった。仕事に従事していた人達の向上の為の事業に大賛成。中小企業の生産部門が主な目的と分かっていたが、女子がつく訓練にも重視して欲しいと思う(講座部分を大きく!)。中小企業からの依頼が少なかったのは残念。少し企業に対して動かす働きかけをしてはどうか。
- ・生活に密着している事業なので関心が強かった。25年度で終止符をうつのはもったいない。技術、資格は今の時代とても大事。電気工事士の資格をもつ65才を過ぎた主人は、退社した今も現役で、保育の資格を持つ私はボランティアに誘われることが多い。この事業は皆さんにぜひ活用して欲しい。
- ・雇用確保の点から考えても、ぜひ継続してほしい事業だと思う。受講者の意見も踏まえつつ、さらに良いものにしてほしい。
- ・これからの効果についてすごく期待できる事業だと思う。
- ・受講者の数を増やし、技術の向上を計って、静岡県内の技術の高さを示してほしい。
- ・活動指標の成果に講習に参加した企業経営者からみた成果のアンケートを実施し(78%)、今後の見直しや内容の選定をする。訓練参加企業に対して成長分野事業のアドバイス、支援等の取組はどうしているか。企業側の満足度(80%)は訓練生を出した企業の仕事内容にマッチングした満足度か。
- ・受講生の感想の中で前向きな意見も相当見受けられた。訓練内容に反映してほしい。
- ・静岡はものづくりでは全国でも中心的存在であり、この分野は大いに伸ばす必要があり、事業内容を充実し、事業費を増額すべきであるが、25年で終了するのは何故か。
- ・受講者募集について、個人の希望が多くしめているようですが、企業側の将来に向けての方向づけに役立つと思える裏づけをつけて参加するようにしたらよいと思う(単に企業の推薦のみならず)。
- ・もっとPRして多くの方が受講できればよいと思う。
- ・事業の続行をお願いしたい。
- ・中小企業にとっては、技術向上のためよいことだと思う。幅広く中小企業に紹介してほしいと思う。
- ・専門性を持った技術者が対象で、そのスキルアップを目指す事業であれば、製造業が多い県内では必要な事業。事業の継続は賛成だが、それに見合う費用対効果を生かせる展開(PR、内容充実、アフターフォローなど)を期待。

- ・中小企業では限界のある事業と考える。平成 25 年度終了ではなく、今後も継続できないか。
- ・新しい分野なので継続してほしいと思う。
- ・継続的な実施を望む。中小企業は産業の大きな力です。大企業は独自で最新の技術を得る機会があるが、中小企業にはこのような技術指導が必要だと思う。
- ・行政が中小企業を育成することは、これからの国のことも考えたら必要だと思う。技術を身に付け、活かせる職場作りの為の支援も行ってほしい。植物工場の実践、理論等これからの産業でおもしろいと思った。
- ・中小企業で働く人にとって大変いい事業なので、継続してほしい。
- ・人材育成は社内教育、各企業で行うべきものだと思うが、中小企業では難しいだろう。国か県どちらがやるのがいいのだろうか。